

高倉祐樹さん 関東中学校陸上競技大会・ 全日本中学校陸上競技選手権大会出場！

8月6日と7日に東京都の国立霞ヶ丘競技場で開催された「第36回関東中学校陸上競技大会」に高倉祐樹さん（男衾上郷北・男衾中学校3年）が男子共通1,500mに出場し、6位に入賞しました。

続いて高倉さんは、8月18日から21日に新潟県で開催された「平成20年度全国中学校体育大会第35回全日本中学校陸上競技選手権大会」にも出場しました。この大会は、各都道府県の大会において全国の標準記録に到達した選手が出場できる大会で、高倉さんは男子1,500mと3,000mの2種目に出場しました。大会結果は、2種目とも惜しくも予選で敗退し、決勝には進めませんでした。

高倉さんは、「結果は満足のできるものではありませんが、全国大会に出場して何か大きなものを得ることができました。それは『あきらめなければ、夢は叶う』ということです」と話してくれました。



川邊稜介さん 夏の甲子園大会出場！

第90回全国高等学校野球選手権記念大会が、高校球児の憧れの大舞台、「阪神甲子園球場」で開催され、北埼玉大会予選を勝ち抜いた本庄第一高等学校が出場しました。寄居町からはチームの一員として、3年生の川邊稜介さん（関山）が参加しました。

8月5日、チームは1回戦で開星高等学校（島根県）と対戦し、接戦の末サヨナラホームランで勝利しました。続く2回戦では、青森山田高等学校（青森県）と対戦しましたが、惜しくも敗れてしまいました。

川邊さんは、「夢にまで見た甲子園の土を仲間と一緒に踏むことができました。ベンチ入りした選手、スタンドで応援してくれた部員、家族や先生方のすべてが一体となって戦うことができ、この夏は高校時代最高の思い出になりました。野球が好きな小・中学生の皆さん、頑張ってください」と感想と後輩へのエールを語ってくれました。



男衾中柔道部から 関東中学校柔道大会・全国中学校柔道大会出場！

8月9日と10日に「第33回関東中学校柔道大会」が神奈川県平塚総合体育館で開催されました。この大会には、埼玉県大会で好成績を残した男衾中学校柔道部の選手が、男子団体の部と男女の個人戦に出場しました。

男子団体戦は一回戦で館山第三中学校（千葉県）と対戦し勝利を収め、二回戦に進出しましたが、優勝した國學院大學栃木中学校（栃木県）に敗れてしまいました。個人戦では、新井翔さん（男衾上郷南・3年・男子60kg級）がベスト8、関口千春さん（牟礼・3年・女子44kg級）が見事優勝、新井千鶴さん（男衾下郷・3年・女子52kg級）が第3位になるなど、好成績を収めました。

また、8月19日から22日には「平成20年度第39回全国中学校柔道大会」が石川県で開催され、関東大会にも出場した新井翔さん、鈴木貴裕さん（赤浜・3年・男子66kg級）、関口千春さんの3選手が出場しました。大会は各階級に48人が参加し、新井さんと鈴木さんは三回戦まで進み、ベスト16の成績を収めました。関口さんは初戦で優勝した徳島県の選手と対戦し、惜しくも判定で敗れてしまいました。

鈴木さんは、「全国の強豪選手と試合をすることができてとても良い経験になりました。入賞はできませんでしたが、自分の持っている力を発揮することができて良かったです。応援していただいた皆さんへの感謝の気持ちを忘れずこれからも練習に励みます」と話してくれました。



写真左から新井翔さん、鈴木さん、関口さん

彩夏到来 08 埼玉総体 限界を越え 飛びたい 飛ぶ 永遠の夏にふれ

7月28日から8月20日まで全国の高校生トップアスリートを迎え、県内各地で全国高等学校総合体育大会が開催されました。この夏、全国を舞台に戦った寄居町の選手たちをご紹介します。

ソフトテニス

菅谷麻菜美さん

菅谷麻菜美さん（上の町・本庄第一高等学校2年）がソフトテニス女子個人戦ダブルスに出場しました。菅谷さんペアは一回戦で和歌山県代表と対戦し、惜しくも敗れてしまいました。

菅谷さんは、「インターハイという大舞台でプレーできたことは来年のためにもとても良い経験になりました。思うような結果は残せませんでしたが、また来年、インターハイの舞台に立てよう頑張ります」と話してくれました。



柔道

堀切良員さん

堀切良員さん（中郷・花咲徳栄高等学校2年）が柔道男子個人戦（90kg級）に出場しました。一回戦シードの堀切さんは、二回戦で京都府代表を相手に終始優位に試合を進めましたが、終盤に奇襲の双手刈りを受け、効果のポイントをとり、惜しくも敗れてしまいました。

堀切さんは、「今回の大会は不完全燃焼で終わってしまいました。来年の優勝目指して頑張ります」と話してくれました。



柔道

内田 光さん

内田光さん（牟礼・児玉高等学校1年）が柔道女子団体戦に出場しました。一回戦、二回戦と順調に勝ち進み、三回戦も突破。準々決勝では、惜しくも鹿児島県代表に敗れてしまいましたが、全国ベスト8という成績を残しました。

内田さんは、「初出場とても緊張してしまい、自分の試合は満足のいく内容ではありませんでしたが、ベスト8という結果を出すことができよかったと思います。この大会を通して学んだことを今後活かしていきたいです」と話してくれました。



ソフトボール

麻原千鶴さん

麻原千鶴さん（上の原・伊奈学園総合高等学校3年）が女子ソフトボールに出場しました。一回戦で鹿児島県代表を相手に優位に試合を進めましたが、6回裏に逆転され、惜しくも敗れてしまいました。

麻原さんは、「インターハイという大舞台で思い切りプレーすることができ、本当にうれしく、そして楽しかったです。負けてしまったのは悔しいけれど、ここまで強く支えてくれたみんなに感謝の気持ちを忘れません」と話してくれました。



剣道

梅澤里帆さん

梅澤里帆さん（今市・東京農業大学第三高等学校3年）が剣道女子団体戦に出場しました。予選リーグで佐賀、青森両県の代表と対戦。佐賀県代表には勝ちましたが、青森県代表に敗れ、1勝1敗で決勝トーナメントへの進出は果たせませんでした。

梅澤さんは、「地元開催のインターハイに出場することができ、とてもうれしいです。先生や仲間とやってきたことが最高の舞台につながってとても幸せです」と話してくれました。



ハンドボール

深田真実さん

深田真実さん（上組・埼玉栄高等学校3年）が女子ハンドボールに出場しました。一回戦、二回戦を順調に勝ち進み、迎えた三回戦では宮崎県代表と対戦。接戦の末、惜しくも敗れてしまいましたが、深田さんは全試合でゴールを決めるなど、チームに貢献しました。

深田さんは、「多くの方に支えられながらベスト16を勝ち取ることができました。つらい時もありましたが、仲間と一緒に勝利を目指しハンドができたことは一生の思い出です」と話してくれました。

